

女性目線で考える避難と避難所運営

オンラインセミナー

【避難所運営ゲーム (HUG) を体験しよう!】

本セミナーは、Zoomを利用し、オンラインのみにて開催します。

避難所運営ゲーム (HUG) を1グループが実際に行います。

参加者には、オンラインで観覧しながら一緒に体験、考えていただきます。

== ♡ == ♡ == ♡ ==

避難所運営には女性の力が重要であるという考えが広がってきています。

シミュレーションを通して、災害時に女性が力を発揮するためにはどうすればいいか一緒に考えませんか。

日時：**9月12日 (土) 10~12時半**

参加費：**無料です**

観覧者募集：**先着30名**

Zoomでの受講が可能な方などでもご参加下さい。

オンラインで観覧しながら、感想など共有します。

当日近くになりましたら、Zoom視聴用のURLや

パスワード等をご連絡差し上げます。

Zoomの利用が初めての方には事前に操作テストを設けます。

75 世帯番号[19]
西浦3704 [西浦3班]
ゆうかん
有感さん
【男20歳】半壊
母の母、母、世帯主、
妻、長男
102歳の老人(母の
母)と避難。母は、歩
行困難。車で避難して
きた。高血圧の薬をな
くして困っている。

110 世帯番号[25]
九州からの旅行者16
にちなん
日南さん
【女76歳】
バス旅行中、地震に遭
遇した。どの道路を通
行できるかわからない
ため、帰宅が困難に
なった。

47 世帯番号[13]
東池1930 [東池3班]
めんしん
免震さん
【男60歳】半壊
母、世帯主、妻、長男
はひきこもり。被災1
匹を連れていた。車で
来たので、その中で暮
らしたい。



避難所の小学校に
人々が続々避難してきます
さあ、どうする!?



【HUGとは】2007年に静岡県が避難所運営

を皆で考えるためのひとつのアプローチとし

て開発した、避難所で起こる様々な出来事にど

う対応していくかを模擬体験するものです。

避難者の年齢や性別、国籍や各自が抱える事情がそ

れぞれある設定で、HUG参加者は思いのままに意見を出

し合ったり、話し合ったりしながら避難所の運営を学ぶこ

とができます。

仙台市の自治会でも震災前に実施し、大変役に立ったとの

事例があります。

講師：松木紀美子 特定非営利活動法人
府中市民活動支援センター 理事長

主催 特定非営利活動法人
府中市民活動支援センター

でんわ
080-2067-1250

(留守電に入れてください/折り返しご連絡します)

メール **fff.sien@gmail.com**

(氏名・メールアドレス・電話番号をご記入下さい)



↑ ホームページ
↓ 参加申込み
メール



↑ HUGに挑戦する参加者

